

第 5 学年 音楽科 学習指導案

本時の主張

本時は、威風堂々第1番がB1, B2, B3と進むにつれ盛り上がっていく感じがすることについて、徐々に重なっていく楽器に着目しながら聴くことを通して、音の重なりと盛り上がる感じとを結び付けて聴く授業である。

子どもたちは、鑑賞曲を聴いた時に、感じたことや気付いたことを言葉でどのように表現してよいか分からず、「楽しそう。」や「明るい。」など、どの楽曲にも当てはまるような感想で終わってしまうことが多い。それは、今までの鑑賞活動の中で、楽曲のよさや面白さを音楽の要素に結びつけて聴いたり考えたりしていなかったため、楽曲の面白さを十分理解しないまま曖昧な感想を述べて終わってしまっていたためである。

そのような子どもたちに、次の手立てを講じる。

- ① Bの部分だけを取り出して聴かせ、徐々に盛り上がっていく感じに気付かせる。
Bの1回目, 2回目, 3回目を分けて聴かせる。どのような感じがしたかを問い、徐々に盛り上がっている感じがすることに気付かせる。その後、徐々に盛り上がる感じがしたのはなぜかを問い、学習課題へと繋げる。
- ② 演奏映像を見せたりスコアを見せたりすることを通して、視覚的にも、どの楽器が増えているのか確かめ、音の重なりへの気付きを明確にする。
何の楽器が演奏していたのかを聴き取った後、演奏映像や、スコアを見て目で確かめる。楽器の音が増えたことが、音に厚みを出し盛り上がる感じを醸し出している事に気付かせていく。
これら2つの手立てを講じることにより、音の重なりと盛り上がる感じとを結びつけて聴くことができるようになる。

1 題材名

曲想を味わおう

教材曲 「威風堂々 第1番」エルガー作曲 (鑑賞)

使用音源

演奏：港北区民交響楽団演奏 (横浜市)

指揮：白川和治

「まっかな秋」薩摩 忠作詞/小林 秀夫作曲 (歌唱)

「キリマンジャロ」(器楽)

ウォルフシュタイン・ウォルフガングヤス作曲

橋本 祥路編曲

2 題材の目標

- 曲想とその変化を音楽を形づくっている要素と関わらせながら聴く。
- 曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって演奏する。

3 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
① 歌詞と旋律リズム、強弱とのかかわりに興味・関心を持ち、曲想にふさわしい表現で歌う学習に意欲的に取り組もうとしている。	① 曲想を生かした表現を工夫し、発声や強弱を付けた歌い方について思いや意図もっている。	① 楽器の音色や旋律の特徴を生かして、旋律楽器や打楽器を演奏している。	① リズムや主な旋律の反復を聴き取り、それらが速度や強弱とかわり合って曲想を生み出していることに気付いている。

②曲想の変化に応じた表現の工夫をしながら合奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	②曲想の変化に合う表現を工夫し、どのような表現にするかについて思いや意図をもっている。	②曲想の変化を味わいながら演奏している。	②音の重なりと徐々に盛り上がる感じがすることを結び付けて聴くことができる。
--	---	----------------------	---------------------------------------

4 題材と指導の構想

(1) 題材について

○学習指導要領との関連

本題材は、「小学校学習指導要領」5年及び6学年の内容、A表現(1)歌唱のア(2)器楽のアとイ、B鑑賞(1)イを受けて設定した。

5 学年及び6 学年の内容

【A表現】

(1) 歌唱

ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと。

(2) 器楽

ア 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつこと。

イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること

(ア) 曲想と音楽の構造との関わり

(イ) 多様な楽器の音色の響きと演奏の仕方との関わり

【B鑑賞】

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解すること。

○題材について

この題材では、曲想と音楽を形づくっている要素とを関連させて聴いたり表現したりすることに焦点を当てて学習を進める。

「威風堂々第1番」は、A→B1→B2→A→B3→終わりの部分から構成されており、AとBの曲想の違いが分かりやすい。また、B1、B2、B3と同じBであっても、曲が進むにつれて徐々に盛り上がる感じがする。AとBの曲想の違いや、Bが徐々に盛り上がっていく感じがするのと、音楽が形づくっている要素とを関わらせて聴かせやすい曲である。

歌唱の「まっかな秋」は、前半の弾む感じから後半は滑らかな感じへと変わり、最後は締めくくると感じになっている。前半は軽やかに、後半はのびやかな声で、最後は晴れ晴れとした気持ちで歌うなどのように、曲想に合った歌い方を工夫しやすい曲である。

器楽の「キリマンジャロ」は、Aの躍動感あふれる部分と、Bの堂々とした部分の2つで構成されている。曲想や曲全体の構成をつかみやすい曲である。AとBの曲想の違いを生かして演奏の工夫がしやすい曲である。

(2) 児童の実態

年生になってからの「いろいろな音の響きを味わおう」の学習では、リコーダーの音の重なり合う響きや、歌声が重なり合う響きや、いろいろな楽器の音が重なり合う響きを楽しみながら歌ったり演奏したりしている。そこでは、主に全体の響きが変化していく面白さを感じ取る事を中心にしてきた。グループごとに意見を出し合い工夫していく姿が見られた。一方、鑑賞の授業では、感じたことや気付いたことを言葉でどのように表現してよいか分からず、「楽しそう。」「明るい。」など、どの楽曲にも当てはまるような感想で終わってしまうことが多い。今までの鑑賞活動の中で、楽曲のよさや面白さを音楽の要素に結び付けていなかったためである。楽曲のよさや面白さを十分理解しないままなんとなく聴き、感想を述べて終わっていたためである。「音の重なり」「強弱」「速度」などを聴き取り、感じ取った事と結び付けていきたい。そのことにより、音楽を形づくっている要素が醸し出すよさや面白さを感じ取らせていきたい。

(3) 指導の構想

目指す児童の姿

- 曲想とその変化を音楽を形づくっている要素と関わらせながら聴く姿。
- 曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって演奏する姿。

この題材では、曲想と音楽を形づくっている要素とを関連させて聴いたり表現したりすることに焦点を当てて学習を進める。4年生では、「曲の気分を感じ取ろう」の学習で、舞踊組曲「ガイーヌ」から『剣の舞』を鑑賞している。音楽が表している様子を思い浮かべながら聴いたり、A-B-A形式の曲であることを学習したりしている。

ここでは、4年生での学習を生かして、曲想の変化と音楽を形づくっている要素が生み出す働きを結び付けて鑑賞し、より音楽の美しさや面白さを実感させていく。また、鑑賞の学習を生かして、器楽と歌唱でも、思いや意図をもって曲想の変化にふさわしい表現を工夫していく姿を目指していく。

本題材では、最初に、鑑賞の学習で曲想と音楽を形づくっている要素とのかかわり合いに気付かせて面白さやよさを実感させていく。指揮やリズム打ち、拍打ちなどの動作を入れ、曲想の変化や特徴を感じさせていきたい。また、B1、B2、B3と曲が進むにつれ徐々に盛り上がる感じがしたのはなぜかを考えさせ、音の重なりが関係していることに気付かせる。鑑賞で気付いたことを生かして、器楽や合唱の学習で、曲想にあった演奏をするにはどのようにしたらよいかについて思いをもたせる。器楽では、「前半はスタッカートで短く、後半は一つ一つの音を丁寧に演奏してみよう。」や合唱では「前半は近くにある風景だから会話するようにリズムに気を付けて、後半は遠くの風景だから遠くに呼びかけるようにゆっくり大きな声で歌ってみよう。」などと思いや意図をもって表現活動に取り組めるようにする。

5 題材の指導計画（全7時間／本時2時間目）

時	学習のねらい（○）と主な学習内容	評価				
		関	創	技	鑑	評価規準
1・2 （本時2時間目） 威風堂々	○全曲通して聴き、曲の感じをつかむ。 ・作曲者や曲について知る。 ・A→B1→B2→A→B3→終わりの部分から構成されていることに気付く。 ・Aの曲想のひみつを探る。				○	リズムや主な旋律の反復を聴き取り、それらが速度や強弱とかかわり合って曲想を生み出していることに気付いている。 鑑①（発言内容・振り返りへの記述）
	○Bが徐々に盛り上がる感じがするのはなぜか、ひみつを探る。 ・音楽的要素の何が関係しているか予想する。 ・音楽を聴きながら、動作を入れ、確かめる。（音の重なり・強弱・速度）				○	音の重なりと徐々に盛り上がる感じがすることを結び付けて聴くことができる。 鑑②（振り返りへの記述）
3・4 まっかな秋	○言葉の繰り返しや旋律の特徴を感じ取りながら歌う。 ・歌詞から、内容を理解して情景を想像する。 ・範唱を聴き、曲の全体をつかむ。 ・前半と後半の曲想の違いに気付く。 ・状況を想像しながら、主な旋律を歌う。	○				歌詞と旋律やリズム、強弱とのかかわりに興味・関心を持ち、曲想にふさわしい表現で歌う学習に意欲的に取り組もうとしている。 関①行動観察

	<ul style="list-style-type: none"> ○前半部分と後半部分の歌い方を工夫する。 ・前半と後半の、歌詞と旋律や強弱記号との関わりに気付く。 ・グループで前半と後半の歌い方を工夫する。 ・グループの工夫を互いに聴き合う。 		○			<p>曲想を生かした表現を工夫し、発声や強弱を付けた歌い方について思いや意図をもっている。</p> <p>創①演奏聴取・振り返りカードへの記述</p>
5・6 ・7 キリマンジャロ	<ul style="list-style-type: none"> ○曲想を感じ取り、主な旋律を練習する。 ・アとイの曲想の違いに気付く。 ・範奏CDを聴き、曲全体の感じをつかむ。 ・主な旋律をリコーダーと鍵盤ハーモニカで演奏する。 		○			<p>曲想の変化に応じた表現の工夫をしながら合奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>②行動観察</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○楽器や旋律の特徴を生かして演奏する。 ・鍵盤楽器1と2のパートの特徴をつかむ。 ・手拍子で打楽器の練習をする。 ・楽器の分担を決め、パート練習をする。 ・打楽器の音色を生かしながら、音量のバランスを考えて演奏する。 			○		<p>楽器の音色や旋律の特徴を生かして、旋律楽器や打楽器を演奏している。</p> <p>技①演奏聴取</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○曲想の変化を感じ取りながら合奏する。 ・アとイの曲想について、どのように変化しているか気付いたことを話し合う。 ・旋律の特徴や強弱、フレーズなどに気を付けて合奏する。 		○	○		<p>曲想の変化に合う表現を工夫し、どのような表現にするかについて思いや意図をもっている。</p> <p>創②演奏聴取、振り返りカードの記述</p> <p>曲想の変化を味わいながら演奏している。</p> <p>技②演奏聴取</p>

6 本時の計画（2時間目／全7時間）

(1) 本時のねらい

威風堂々第1番がB1, B2, B3と進むにつれ盛り上がっていく感じがすることについて、徐々に重なっていく楽器に着目しながら聴くことを通して、音の重なりと盛り上がる感じとを結び付けて聴くことができる。

(2) 本時の構想

子どもたちは、曲を鑑賞して感じたことと、音楽を形づくっている要素とを結び付けて楽曲を鑑賞する学習の経験が少なく、鑑賞曲を聴いた時に、「明るい。」や「楽しい。」や「悲しい感じがする。」など、どの楽曲でも通じるような感想を言う。音楽を形づくっている要素と関わらせて考えている児童は少ない。

前時では、全曲を通して聴き、曲の感じをつかんでいる。また、作曲者や曲の構成について理解している。A→B1→B2→A→B3→終わりの部分から構成されていることや、AとBの曲想の違いについても気付いている。リズム打ちをすることで、Aが躍動的な感じがするのは、主に細かいリズムが繰り返し出てくるからであることを実感している。

本時は、Bの部分について、B1, B2, B3と曲が進むにつれ、徐々に盛り上がる感じがするのはなぜかを考えさせる。音楽を形づくっている要素と結び付けて聴くことにより、楽曲のよさや面白さを感じ取り、聴く喜びや楽しさを味わうことができるようにする。そのために、次の2つの手立てを講じる。

【手立て1】

Bの部分だけを取り出して聴かせ、比較しながら聴くことにより徐々に盛り上がっていく感じに気付かせる。

導入で、前時に学習した、Aが「躍動感あふれる感じ」がしたのは、リズムが関係していることを確認する。その後、Bの部分を鑑賞する。音源は、港北区民交響楽団演奏（指揮：白川和治）を使用する。この音源は、B1とB2とB3と徐々に盛り上がる感じが分かりやすい。また、パイプオルガンを使用していて、B3での音の重なりが分かりやすい。また、B2の途中でゆっくり演奏するなど、音の重なり、強弱、速度の3つの工夫に気付きやすい演奏になっている。B1、B2、B3と分けて聴かせることにより、比較しながら聴き、徐々に盛り上がる感じに気付くことができると考える。聴く時は、指揮を振りながら聴かせる。B1、B2、B3と曲が進み盛り上がっていくにつれ、子どもたちの指揮も大きくなっていくだろう。指揮をすることを通して徐々に盛り上がっていくことを実感させたい。その後、「徐々に盛り上がる感じがしたのはなぜだろう」と問い、もっと聴きたい、ひみつを探りたいという思いを引き出し、学習課題に繋げていく。

【手立て2】

演奏映像を見せたりスコアを見せたりすることを通して、視覚的にも、どの楽器が増えているのか確かめ、音の重なりへの気づきを明確にする。

どんどん盛り上がる感じがしたのはなぜか予想させる。音楽を形づくっている要素が掲示してあるボードを取り出し、かかわりのありそうだと思うものを選ぶことができるようにする。子どもたちから、「音の重なり」「強弱」「速度」などが出てくると考える。「強弱」「速度」については、指揮をすることでもどの子も気付くことができると考える。しかし、音の重なりは、指揮だけでは気付くことは難しい。そこで、何の楽器が演奏していたのかを聴いて確かめさせる。その後、本当に聴き取った楽器が演奏していたのか、演奏映像や、スコアを見て目で確かめる。そして、楽器の音が増えたことが、音に厚みを出した事に気付かせていく。

(3) 本時の展開

学習活動	教師の働きかけと予想される児童の反応	■評価 ○留意点
<p>1 導入 (8分) B1、B2、 B3と徐々に盛り上がる感じがするのはなぜかを探ることに意欲をもつ。 【手立て1】</p>	<p>T1 昨日はAの部分を聴いて、Aのひみつを見付けましたね。Aが「躍動感あふれる感じ」がしたのは、リズムが細かかったからなどでしたね。今日はBのひみつを探っていきましょう。</p> <p>T2 Bは「威風堂々」の中に3回出てきますね。では、Bを聴いてみましょう。Bはどんな感じがするかな？B1から順に聴きます。指揮を振りながら聴きましょう。B1、B2、B3はどんな感じがするかな？ (B1→B2→B3の順に指揮を振りながらBを聴く。)</p> <p>T3 どんな感じがしましたか？</p> <p>C1 Aに比べてゆったりとした感じ。 C2 Aに比べて速さがゆっくりになった。 C3 堂々とした感じ。 C4 カッコいい感じ C5 王様が出てきそう。</p>	<p>○前時の学習の様子が思い出せるように掲示しておく。 (楽曲の構成や、Aの部分のひみつについての学習した様子)</p> <p>○B1、B2、B3に分けて聴かせる。</p> <p>○指揮を振りながら聴き、だんだん盛り上がっていくことを実感させる。</p>

<p>1 3 : 5 8</p>	<p>C 6 1回目と2回目と3回目の感じが、違った。 C 7 3回目になるにつれ、盛り上がる感じがした。 T 4 同じBでも、どんどん盛り上がる感じがしたのですね。どうしてでしょう？ C 8 音が大きくなるからかなあ？ C 9 楽器が増えるからかなあ？ T 5 今日の課題は、Bがどんどん盛り上がる感じがしたのはなぜかを考えるのでいいですか？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>3回出てくるBが、どんどん盛り上がる感じがしたのはなぜかな？ひみつを探ろう。</p> </div>	<p>○ 1回目と2回目と3回目の感じが違うことに気付いた子の意見を広げ、学習課題に繋げていく。</p>
<p>2 展開 徐々に盛り上がる感じがするのはなぜかを何度も聴き確かめる。 (29分)</p>	<p>T 6 どんどん盛り上がる感じがしたのは、何の関係していると思いますか？ C 10 だんだん音が大きくなっていったからだと思う。 C 11 ぼくも強弱が関係していると思う。 T 7 みんなは強弱は関係していると思いますか？ C 12 はい。 T 8 なるほど、強弱はひみつの1つですね。他にもありますか？ C 13 時々遅くなる場所があったから速度だと思う。 T 9 速度が遅くなる場所がありましたか。 C 14 あった！盛り上がる前にあった。 T 10 なるほど、速度もひみつの1つですね。他にもありますか？ C 15 楽器が増えているからだと思う。 C 16 確かに、楽器が増えていると思う。 C 17 音がいっぱいになっていった。 C 18 増えていると思うけど、何の楽器が増えているのかなあ？ C 19 本当に増えているのかなあ？ T 11 ひみつに楽器が増えることを入れてもいいか調べてみましょう！もう一度聴いて確かめてみましょう！増えたと思ったところで手を挙げましょう。B 1 → B 2 → B 3 と聴きますね。 T 12 どうでしたか？ みんなはB 3 でたくさん手を挙げていましたね。 C 20 B 3 で太鼓の音がした。 C 21 B 3 で低い音が聞こえてきた。 C 22 オルガンの音みたいだった。 C 23 B 2 も少し増えているみたい。でも、B 3 が1番増えている感じがする。 T 13 B 3 で楽器が増えるのですね。どの楽器が増えているのか分かりましたか？ C 24 たぶん太鼓だと思うけど・・・</p>	<p>○ 音楽を形づくっている要素が掲示してあるボードを取り出し、かかわりのありそうだと思うものを選ぶことができるにする。また、教師が子どもの発言を聞いて、関係する要素を貼っていく。</p> <p>○ 強弱や速度などのひみつが出てきた場合は、子どもたちに同じように感じたかを聴き、ひみつに加えていく。</p> <p>○ どんな感じがしたかと、どこでそう感じたかを関わらせながら板書していく。</p>

<p>【手立て 2】</p> <p>【手立て 2】</p> <p>1 4 : 2 7</p>	<p>C 25 オルガンみたいな音は何かなあ？</p> <p>C 26 他にも聞こえてくるけど、何の楽器かよく分からないなあ。</p> <p>T 14 もう一度 B 3 だけ聞いてみましょう。何の楽器が聞こえてくるかな？グループに 1 枚オーケストラの配置表を渡します。聞こえた楽器の音に○を付けましょう。（B 3 だけを聴く。）</p> <p>T 15 何の楽器が聞こえてきましたか？</p> <p>C 27 パイプオルガンかな？</p> <p>C 28 シンバルかな？</p> <p>T 16 では、演奏している映像があるのですが、見てみますか？ （映像を見る）</p> <p>T 17 どうでしたか？</p> <p>C 29 やっぱパイプオルガンだ。</p> <p>C 30 やっぱり太鼓だ！！</p> <p>C 31 金管楽器も増えているぞ！！</p> <p>T 18 これは、「威風堂々第 1 番」のスコアです。B 3 から、何の楽器が増えているか分かりますか？</p> <p>C 32 ほんとだ！スコアにも書いてある。</p> <p>C 33 太鼓もある！</p> <p>C 34 金管楽器も書いてある！！</p> <p>T 19 いろいろな音が重なって、音に厚みが出ていたのですね。 では、楽器の音の重なりもひみつの 1 つでいいですね。</p> <p>C 35 はい。</p>	<p>○グループに 1 枚オーケストラの配置表を渡す。グループの友達と一緒に、聞こえてきた楽器を○で囲む。</p> <p>○映像を見てどの楽器が演奏しているか確かめる。</p> <p>○スコアを見てどの楽器が演奏しているか確かめる。</p>
<p>3 まとめ ひみつをまとめる。 (3 分)</p> <p>1 4 : 3 0</p>	<p>T 20 今日の学習のまとめをしましょう。どんどん盛り上がる感じがしたのはなぜでしたか？</p> <p>C 36 楽器の音が増えたから。</p> <p>C 37 音に厚みが出たから。</p> <p>C 38 強弱があったから。</p> <p>C 39 盛り上がる前にゆっくりになったから</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>どんどん盛り上がる感じがしたのは、 ひみつ 1 楽器が増えたから。（音の重なり） ひみつ 2 どんどん大きくなった。（強弱） ひみつ 3 盛り上がる前にゆっくりになった。 （速度）</p> </div>	<p>○子どもたちの意見を聞きながら、音楽を形づくっている要素が掲示してあるボードを取り出し、（音の重なり）（強弱）（速度）のカードを貼っていく。</p>
<p>4 振り返り 学習の振り返りをする。 (5 分)</p>	<p>T 21 振り返りを書きましょう。今日の振り返りのポイントは、</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○B 1, B 2, B 3 と曲が盛り上がる感じがした理由について、自分の言葉でまとめてみよう。</p> </div>	<p>音の重なりと徐々に盛り上がる感じがすることを結び付けて聴くことができる。 鑑②（振り返りへの記述）</p>

1 4 : 3 5	<p>C 40 B 1, B 2, B 3 と曲が盛り上がる感じがしたのは、楽器の数が増えていって音の重なりが多くなったからです。</p> <p>C 41 B 1, B 2, B 3 と曲が盛り上がる感じがしたのは、楽器の数が増えていって、盛り上がる感じがしたからです。B 3 のスコアは全部の楽器が演奏していて驚きました。</p> <p>C 42 B 1, B 2, B 3 と曲が盛り上がる感じがしたのは、楽器が増えて、しかも強弱がついていたからです。パイプオルガンが大きくて驚きました。</p>	
-----------	--	--

(3) 本時の評価

評価方法：振り返りへの記述で評価

評価規準：音の重なりと徐々に盛り上がる感じがすることの関わりに気付いている。

B 評価の姿：振り返りカードへの記述例

- ・ B 1, B 2, B 3 と曲が盛り上がる感じがしたのは、楽器の数が増えていって音の重なりが多くなったからです。
- ・ B 1, B 2, B 3 と曲が盛り上がる感じがしたのは、楽器の数が増えていって、たくさんの音の重なりができたからです。B 3 のスコアは全部の楽器が演奏していて驚きました。
- ・ B 1, B 2, B 3 と曲が盛り上がる感じがしたのは、楽器が増えて、しかも強弱がついていたからです。パイプオルガンが大きくて驚きました。

7 参考文献

- ・「評価規準の作成，評価方法の工夫改善のための参考資料【小学校 音楽】」平成 25 年 9 月 国立教育政策研究所教育課程センター
- ・鑑賞の授業づくりアイデア集 平成 21 年 (音楽乃友社)
- ・こども・からだ・おんがく 高倉先生の授業研究ノート 平成 29 年 (音楽之友社)

8 板書計画

